

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

Japanese Patent Laid-open Publication No. HEI 8-272428 A
publication date : October 18, 1996

Applicant : Mitsubishi Denki Kabushiki Kaisha

Title : MONITORING DEVICE AND ASSEMBLY LINE DEVICE USING THIS
MONITORING DEVICE

[Abstract]

[Object] Has an object of obtaining a monitoring device capable of reading in non-contact, monitor data stored in a memory plate.

[Construction] A monitoring device comprising: an externally-provided monitor data generating unit for generating monitor data to be displayed in a display unit; an externally-provided memory unit for storing the monitor data generated by the monitor data generating unit; a monitor data processing unit connected in wireless to the memory unit, for inputting the monitor data from the memory unit and processing the monitor data; and a display unit for displaying the monitor data processed by the monitor data processing unit.

[Scope of Claim for a Patent]

[Claim 1] A monitoring device comprising: externally-provided monitor data generating means for generating monitor data to be displayed in display means; externally-provided memory means for storing the monitor data generated by the monitor data generating means; monitor data processing means connected in wireless to the memory means, for inputting the monitor data from the memory means and processing the monitor

data; and display means for displaying the monitor data processed by the monitor data processing means.

[Claim 2] A monitoring device according to claim 1, wherein the memory means and the monitor data processing means are connected to each other in electromagnetic waves.

[Claim 3] A monitoring device according to claim 1, wherein the memory means and the monitor data processing means are connected to each other in optical signals.

[Claim 4] A monitoring device according to claim 1, wherein regarding the monitor data, in the case of storing the same continuous monitor data in the memory, (a) information for showing a presence or absence of continuous data, (b) information for showing a number of continuous data, and (c) monitor data information are output sequentially from the memory means to the monitor data processing means.

[Claim 5] An assembly line device for an assembly line work for processing a sequentially moving assembly line item at predetermined positions, the assembly line device comprising: data generating means for generating monitor data to be displayed in display means provided near the predetermined positions and outputting the generated monitor data to memory means provided in the assembly line item; monitor data processing means connected in wireless to the memory means, for inputting the monitor data from the memory means and processing the monitor data; and display means for displaying the monitor data processed by the monitor data processing means.

[Explanation of Reference Symbols]

1 Monitoring device CPU, 3 Work RAM, 4 Monitor data memory,
5 Display controller, 8 Display device, 12 Communication
I/F, 13 P/S, S/P converter circuit, 14 MODEM circuit, 15
Modulator circuit, 16 Oscillator circuit, 17 Power source
circuit, 18 Memory plate CPU, 19 Memory plate monitor data
memory, 20 Antenna, 21 Optical device, 23 Personal
computer, 24 Picture-preparing S/W, 1a Monitor data, 3a
Antenna section.

To programmable controller

For internal circuit

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **08272428 A**

(43) Date of publication of application: 18.10.96

(51) Int. Cl G05B 23/02
 G05B 19/02
 G05B 19/04
 G06F 17/60
 H04Q 9/00

(21) Application number: 07071265

(71) Applicant: MITSUBISHI ELECTRIC CORP

(22) Date of filing: 29.03.95

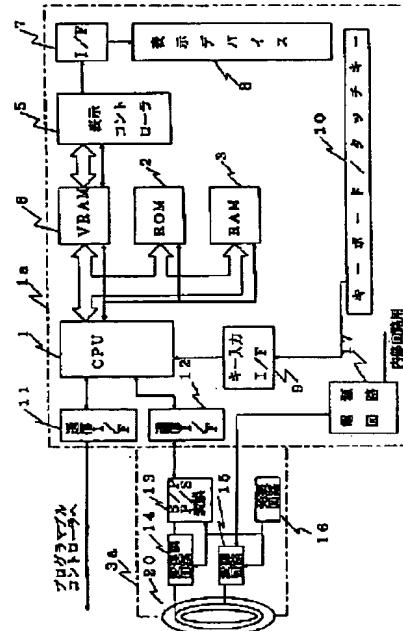
(72) Inventor: **KONDO HARUHIKO**

(54) MONITORING DEVICE AND ASSEMBLY-LINE DEVICE USING SAME

(57) Abstract:

PURPOSE: To reduce memory capacity in a monitoring device by displaying by processing monitor data inputted from a storage means which stores generated monitor data.

CONSTITUTION: When display processing to display the monitor data is performed, a CPU 1 generates a fixed display part on one screen based on received monitor data stored in a RAM 3. The CPU 1 also reads out variable display part data in accordance with the fixed display part at need. The CPU 1 combines data read out of a programmable controller with the monitor data at each screen, and writes it on a VRAM 6. A display controller 5 reads in the data written on the VRAM 6 by the CPU 1, and outputs it to a display I/F 7. The display I/F 7 converts a signal to output fitted in the characteristics of a display device 8, and outputs it to the display device 8. Therefore, the monitor data is read out of a memory plate in non-contact by electromagnetic wave coupling.



COPYRIGHT: (C)1996, JPO

特開平8-272428

(43) 公開日 平成8年(1996)10月18日

(51) Int.Cl.⁶
G 05 B 23/02
19/02

識別記号 庁内整理番号
7531-3H

F I
G 0 5 B 23/02
19/02

技術表示箇所

19/048
G 0 6 F 17/60

H 0 4 Q 9/00
G 0 5 B 19/05

審査請求 未請求 請求項の数 5 O.L (全 14 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平7-71265

(71)出願人 000006013

三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

(22) 出願日 平成 7 年(1995) 3 月 29 日

(72) 発明者 近藤 治彦

名古屋市東区矢田南五丁目 1番

電機株式会社名古屋製作所内

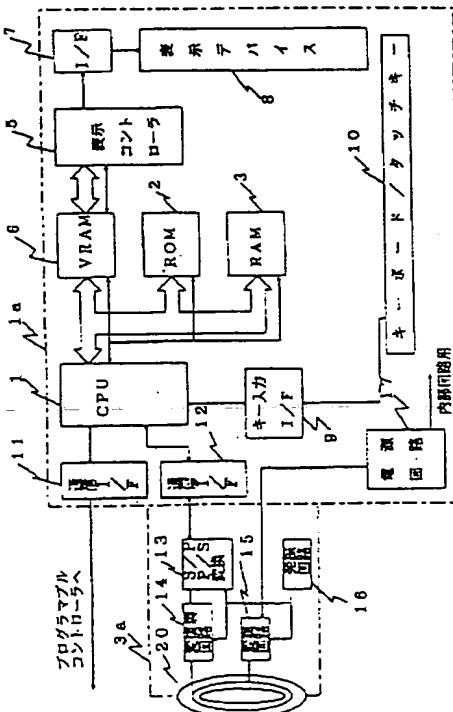
(74) 代理人 井理士 宮田 金雄 (外3名)

(54) 【発明の名称】 モニタ装置及びそのモニタ装置を用いた流れ作業装置

(57) 【要約】

【目的】 メモリプレート内に格納されたミニタデータを非接触で読みだし可能なモニタ装置を得ることを目的とする。

【構成】 表示手段に表示するモニタデータを生成する外づけのモニタデータ生成手段と、このモニタデータ生成手段で生成されたモニタデータを記憶する外づけの記憶手段と、この記憶手段と無線で接続して、記憶手段からモニタデータを入力して、モニタデータを処理するモニタデータ処理手段と、このモニタデータ処理手段で処理されたモニタデータを表示する表示手段とを備えたことを特徴とするモニタ装置。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 表示手段に表示するモニタデータを生成する外づけのモニタデータ生成手段と、このモニタデータ生成手段で生成されたモニタデータを記憶する外づけの記憶手段と、この記憶手段と無線で接続して、記憶手段からモニタデータを入力して、モニタデータを処理するモニタデータ処理手段と、このモニタデータ処理手段で処理されたモニタデータを表示する表示手段とを備えたことを特徴とするモニタ装置。

【請求項2】 上記記憶手段とモニタデータ処理手段との接続において、両者間を電磁波で接続することを特徴とする請求項1記載のモニタ装置。

【請求項3】 上記記憶手段とモニタデータ処理手段との接続において、両者間を光信号で接続することを特徴とする請求項1記載のモニタ装置。

【請求項4】 上記モニタデータにおいて、連続する同一のモニタデータをメモリ内に格納する場合、(イ)連続データの有無を示す情報、(ロ)連続データの個数を示す情報、(ハ)モニタデータ情報を順次記憶手段からモニタデータ処理手段に出力することを特徴とする請求項1記載のモニタ装置。

【請求項5】 順次移動する流れ作業物を所定の位置で処理する流れ作業において、上記所定の位置の近傍に設けられた表示手段に表示するモニタデータを生成して、この生成されたモニタデータを流れ作業物に設けられた記憶手段に出力するデータ生成手段と、上記記憶手段と無線で接続して記憶手段からモニタデータを入力して、モニタデータを処理するモニタデータ処理手段と、このモニタデータ処理手段で処理されたモニタデータを表示する表示手段とを備えたことを特徴とする流れ作業装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、PC等に接続しモニタリングを行うモニタ装置及びこのモニタ装置を用いた流れ作業装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 図8は、従来のモニタ装置を示すブロック図である。図8において1は、モニタ装置5aの全体を制御するCPU、2はCPUのバスに接続され、プログラムを格納するROM、3はプログラムにもとづく演算結果等を一時的に格納するRAM、4は表示器に表示する内容を予め記憶しておくモニタデータメモリで、通常ROMあるいは、フラッシュROMである。5は表示器用の信号を作り出す表示コントローラ、6はVRAMで、CPU1および表示コントローラ5の両方からアクセスできるメモリ、7は実際に表示器に必要な信号を作り出す表示器I/F回路で、例えば赤、緑、青のそれぞれの色の構成を表すRGB信号等を作り出す。8は表示器I/F回路7から出力された信号に基づき画像を表示

する表示デバイス、9はキーボード10からキー入力が発生した場合、モニタ装置5aのCPU1にキー入力にもとづく事象を知らせるキー入力I/F、22ではモニタ装置5aのモニタ対象となる、プログラマブルコントローラ、11はプログラマブルコントローラ22との通信を行う通信I/Fである。

【0003】 図9はモニタデータメモリ4の内容を示した図である。

【0004】 図10はモニタ装置5aのモニタデータメモリ4に表示内容を記憶させるときの構成例である。23は表示画面を作成するためのツールで、通常パソコンなどが用いられる。24は、パソコン23上でモニタ装置に表示したい画面の固定部分の作画、及び可変部分である表示部のモニタ条件、モニタしたい演算結果が格納されているシーケンサのデバイス番号等の設定を行うS/Wパッケージである。25はパソコン23、及びS/Wパッケージ24で作成した内容をモニタデータメモリ4にコピーするためのROMライタである。上述の処理にて作成されたモニタデータメモリ4をモニタ装置5aに装着することにより、モニタ装置5aはモニタデータメモリ4の内容に基づき表示器に後述する内容の画像を表示する。

【0005】 図11は、ROMライタ等25を使用せず、直接モニタ装置5aに表示内容を有線を使って転送する構成例を示した例である。

【0006】 図8および図12においてCPU1は第1に予めROM2の中に格納されたマイクロプログラムに従って演算及び表示処理等を実行する。第2に表示処理時CPU1は、モニタデータメモリ4に格納されたモニタデータを逐次読み出す。上記ROM2のマイクロプログラムに基づいて読み込んだモニタデータを表示するための処理をおこなう。第3にプログラマブルコントローラ22に接続し、プログラマブルコントローラ22内に格納されているデバイスの内容等をプログラマブルコントローラ22から読みだし、そのデバイスの内容をワークRAM3に格納する。第4にCPU1はモニタデータメモリ4に格納されている1画面分の表示画面データ固定表示部分と、ワークRAM3から読み出したデバイス内容可変表示部分とを合成し、VRAM6に書き込む。

以上がCPU1の処理動作である。VRAM6は、アドレスバス、データバス、リード/イネーブル、ライト/イネーブル信号等のコントロール信号をそれぞれ、2系統持ち、同時に各々のアドレスバス、データバスからアクセス可能なメモリである。一方、表示コントローラ5は、使用する表示デバイス8の種類にマッチした特性を持つコントローラであり、表示デバイス8の表示タイミング、或は、バス構成により、その特性が決定される。この表示コントローラ5はCPU1がVRAM6上に書いたデータを読み込み、表示器I/F7に出力する。表示器I/F7は、表示デバイス8の特性にあつた出力に信

号を変換し、表示デバイス 8 に出力する。例えば表示デバイス 8 が LCD の場合は、電圧及び、電流を使用する LCD に見合ったレベルに変換し、また、表示デバイスが CRT の場合は、RGB 入力を持つ RGB 信号に変換する。割り込みを発生させる場合、キーボード 10 からのキー入力により、キー入力 1/F9 を介して CPU 1 に対し命令する。このように、キーボード 10 等から入力が発生した場合は、モニタデータで指定されるデバイス番号に基づいてプログラマブルコントローラ 22 の内部デバイス情報を変更する。上記のように従来のモニタ装置は構成されていた。

【0007】次に、図9により、モニタデータメモリ 4 の構成について説明する。モニタデータメモリ 4 は、大きく分けると、モニタデータメモリ 4 全体の各画面データの格納される先頭アドレス等、モニタデータメモリ全体の構成に関する情報を格納する先頭アドレス情報ヘッダ 30 と、表示デバイス 8 にどのような图形を表示するかを格納するキャンバス图形情報と、プログラマブルコントローラ 22 のどのデバイスをモニタするかの情報と、各画面に表示する文字の情報と、その他の補助機能の情報をメモリする。上記先頭アドレス情報ヘッダ 30 は先頭アドレスヘッダであり、先頭アドレス情報ヘッダ 30 には、格納されているモニタデータメモリ 4 のトータルサイズ、及び、キャンバス画面データ情報ヘッダ 31、モニタ条件設定情報ヘッダ 33、テキストキャンバス設定情報ヘッダ 35、補助機能情報ヘッダ 37 のそれぞれを指示するアドレスなどが格納されている。キャンバス图形情報ヘッダ 31 にはトータルの画面数、及び、各画面ごとのキャンバス图形の先頭アドレスが格納される。その後に各画面ごとのキャンバス图形データ 32 が格納されている。キャンバス图形データ 32 は、主に、直線、丸、四角系などの图形の種類を示す部分と、細線、太線、破線などの線の種類を示す部分と色を示す部分と、その图形を画面上のどこに配置するかの座標を示しており、これらが複数集まることにより 1 画面分のキャンバス图形データが構成される。モニタ条件設定情報ヘッダ 33 には、モニタ条件を設定している画面数、及び、各画面ごとのモニタ条件設定情報 34 が格納されている先頭アドレスが格納されている。その後に各画面に対応するモニタ条件設定情報 34 が格納されている。各画面ごとのモニタ条件設定情報 34 は、数値表示、文字列表示、部品表示などのモニタの種類を示す部分と、表示の位置、プログラマブルコントローラのデバイスを参照するタイミングを示すモニタタイミング部とから構成される。これらが複数集まることにより 1 画面分のモニタ条件データが構成される。テキストキャンバス設定情報ヘッダ 35 はテキストキャンバスの設定されている画面数、及び、各画面ごとのテキストキャンバス設定情報 36 の先頭アドレスが格納される。その後にテキストの文字数、表示位置、文字列コードから構成されるテキスト

キャンバス設定データ 36 が格納されている。これらが複数集まることにより 1 画面分のキャンバステキストデータが構成される。補助機能情報ヘッダ 37 は、設定されているそれぞれの補助機能先頭アドレスが格納されている。その後にそれぞれの補助機能を動作させるための条件が格納されている。

【0008】モニタデータは、上述のとおり、パソコン 23 等でモニタデータ作成用の S/W パッケージ 24 を動作させて作成する。このとき設定するデータは、表示 10 デバイス 8 に表示する基本的な图形の部分とその中に表示させたい文字、また必要なときはプログラマブルコントローラ内部のデバイス情報、或は、キー入力によって変更されたデバイス等を設定する。このようにして上記モニタデータが作成される。

【0009】以上のように作成されたモニタデータを、パソコン等から RS232C 等のシリアル I/F で ROM ライタ 25 へ転送する。その後、ROM ライタ 25 によりモニタデータメモリ 4 へデータを書き込む。通常、モニタデータメモリ 4 は、ROM 等のメモリが使用される。モニタデータメモリ 4 へデータを書き込むことにより ROM の中にモニタデータが格納される。その ROM をモニタ装置に実装することによりユーザが作成した画面の上でプログラマブルコントローラのデバイスをモニタ、あるいはキー入力を可能にする。

【0010】また、図 11 に示すように ROM ライタ 25 を使用せず、RS232C 等のシリアル I/F で直接モニタ装置 5a 本体に内蔵されたモニタデータメモリ 4 にモニタデータを書き込むこともできる。また、上述で説明したモニタ装置を生産ラインに適用した場合の構成

30 及び動作について説明する。図 13 は工場における生産ラインを示す。このような生産ラインでは、通常、生産ラインの最初に管理用パソコン或いは、もっと規模の大きなコンピュータ 23a が設置されており、生産計画や、生産する製品に対応した制御情報を生産ライン（コンベア 28）に伝達する。この管理用コンピュータ 23a の記憶装置にモニタデータを保管しておく。通常、製造に関する情報、たとえば、作業指示や組立て情報の伝達を、パソコン、あるいは、プログラマブルコントローラなどの管理用コンピュータで行う。つまり、管理用コンピュータ 23a は、常にどのパレット 27 上のワーク 26 がコンベア 28 上のどの位置にいるかを管理し（トラッキング）、その情報をもとに、各ステーションに対し、作業指示などの生産情報を伝達する。従って、何らかの要因、たとえば、現場作業者が間違えて製品（ワーク 26）を抜き取った場合など、管理コンピュータがわからないところで製品（ワーク 26）がコンベア 28 上から抜き去られると、その後の製品の生産情報が間違つたものとなる。たとえば、A, B, C, D, E という種類の製品（ワーク 26）が順番に生産ラインに投入され、それぞれ、組立て内容が異なっているとする。管

40 ティコンピュータ 23a は、常にどのパレット 27 上のワーク 26 がコンベア 28 上のどの位置にいるかを管理し（トラッキング）、その情報をもとに、各ステーションに対し、作業指示などの生産情報を伝達する。従って、何らかの要因、たとえば、現場作業者が間違えて製品（ワーク 26）を抜き取った場合など、管理コンピュータがわからないところで製品（ワーク 26）がコンベア 28 上から抜き去られると、その後の製品の生産情報が間違つたものとなる。たとえば、A, B, C, D, E という種類の製品（ワーク 26）が順番に生産ラインに投入され、それ、組立て内容が異なっているとする。管

理コンピュータが管理できないところで、Cの製品が無くなつたとする。すると、A、Bの製品は正常に作業指示などの生産情報が伝達されるが、本来Cの製品がくるべきところDの製品がライン上に流れてくる。しかし、管理コンピュータは、Cが無くなつたことを知らないため、Cの生産情報を伝達する。つまり、本来は、Dの作業情報を伝達すべきところCの情報を伝達し、間違つた製品を生産することになる。

【0011】

【発明が解決しようとする課題】従来のモニタ装置は以上のように構成されており、複数のモニタデータをモニタ装置に表示させる場合、モニタ装置内のモニタデータメモリに記憶させるモニタデータ数が増えるため、大きな容量のモニタデータメモリが必要となりモニタ装置のコストが高くなるとともに装置が大型化してしまう問題があった。また、複数のモニタデータをモニタ装置に表示させる場合、いったんモニタ装置内のモニタデータメモリに記憶させる必要があるのでモニタデータ処理時間が長くなる問題があった。また、従来の流れ作業装置は上述のとおり、予めプログラムで、ワーク26の動き、及び、ステーションの通過タイミングを設定し、この予め設定された通過タイミングに対応して各ステーションのモニタ装置に対して所定のワーク26の生産情報をステーションのモニタ装置に送付するようにセットする構造なので、上述のトラブルにより、A、B、C、D、Eという連続する製品の内、C製品（ワーク26）がなくなった場合、モニタ装置上の画面表示内容が誤って表示されたりする問題があった。

【0012】本発明は、このような問題点を解決するためになされたもので、第一の目的はモニタ装置内のメモリ容量を削減できるモニタ装置を提供するものである。

【0013】第2の目的はモニタ装置内のモニタデータ処理時間を短くできるモニタ装置を提供するものである。第3の目的は、ラインに使うモニタ装置に対して正確な情報を常時表示させる。

【0014】

【課題を解決するための手段】この発明に係る請求項1の発明においては、表示手段に表示するモニタデータを生成する外づけのモニタデータ生成手段と、このモニタデータ生成手段で生成されたモニタデータを記憶する外づけの記憶手段と、この記憶手段と無線で接続して、記憶手段からモニタデータを入力して、モニタデータを処理するモニタデータ処理手段と、このモニタデータ処理手段で処理されたモニタデータを表示する表示手段とを備えたものである。また、この発明に係る請求項2の発明においては、上記記憶手段とモニタデータ処理手段との接続において、両者間を電磁波で接続するものである。また、この発明に係る請求項3の発明においては、上記記憶手段とモニタデータ処理手段との接続において、両者間を光信号で接続するものである。また、この

発明に係る請求項4の発明において、上記モニタデータにおいて、連続する同一のモニタデータを伝送する場合、（イ）連続データの有無を示す情報、（ロ）連続データの個数を示す情報、（ハ）モニタデータ情報を順次記憶手段からモニタデータ処理手段に出力するものである。さらにまた、発明に係る請求項5の発明においては、順次移動する流れ作業物を所定の位置で処理する流れ作業において、上記所定の位置の近傍に設けられた表示手段に表示するモニタデータを生成して、この生成されたモニタデータを流れ作業物に設けられた記憶手段に出力するデータ生成手段と、上記記憶手段と無線で接続して記憶手段からモニタデータを入力して、モニタデータを処理するモニタデータ処理手段と、このモニタデータ処理手段で処理されたモニタデータを表示する表示手段とを備えたものである。

【0015】

【作用】上記のように構成された請求項1のモニタ装置は、表示手段に表示するモニタデータを外づけのモニタデータ生成手段が生成して、生成されたモニタデータを外づけの記憶手段が記憶する。そして、モニタデータ処理手段が記憶手段と無線で接続するとともに、記憶手段からモニタデータを入力し、このモニタデータを処理することによりモニタデータのメモリ容量を小さくすることが可能である。また、上記のように構成された請求項2のモニタ装置は、記憶手段とモニタデータ処理手段との両者間を電磁波で接続することによりモニタデータのメモリ容量を小さくすることが可能である。また、上記のように構成された請求項3のモニタ装置は、記憶手段とモニタデータ処理手段との両者間を光信号で接続することによりモニタデータのメモリ容量を小さくすることが可能である。

また、上記のように構成された請求項4のモニタ装置は、連続する同一のモニタデータを伝送する場合、（イ）連続データの有無を示す情報、（ロ）連続データの個数を示す情報、（ハ）モニタデータ情報を順次記憶手段からモニタデータ処理手段に出力することにより、モニタ装置に対するモニタデータ転送時間を短縮できる。さらにまた、上記のように構成された請求項5の流れ作業装置は、データ生成手段が、所定の位置の近傍に設けられた表示手段に表示するモニタデータを生成して、この生成されたモニタデータを流れ作業物に設けられた記憶手段に出力する。そして、モニタデータ処理手段が、上記記憶手段と無線で接続してモニタデータを入力して、モニタデータを処理することにより、所定の流れ作業物に対するモニタデータを確実に表示手段が表示できる。

【0016】

【実施例】

実施例1. 図1から図7により説明する。なお、図中従来例と同一符号で示したものは、従来例におけるそれと同一、もしくは相当するものを示す。

【0017】実施例1はメモリプレート2aとモニタ装置1aとを電磁的に結合させる構成及び動作を説明する。図6は本発明の実施例のメモリプレート2a、19にモニタデータを格納する際の構成例を示す図である。メモリプレート2a、19に格納するモニタデータはパソコン23等でモニタデータ作成用のS/Wパッケージ24を動作させてあらかじめ作成しておく。このとき設定する内容は、従来例と同一である。こうして作成したデータを後述のアンテナ部3a等と同様の構成からなる書き込み器3bを介してメモリプレート2aに非接触で書き込む。あるいはパソコンの外部記憶装置にモニタデータを保管する。この際モニタデータは図4、5により示した手順で圧縮される。図1は本発明実施例1におけるモニタ装置1aのブロック図である。図1において1は、モニタ装置1aの全体を制御するCPU、2はCPUのバスに接続されCPU1を制御するマイクロプログラムを格納するROM、3はプログラム途中の演算結果等を一時的に格納するワークRAM、5は表示デバイス8用の信号を作り出す表示コントローラ、6はVRAMで、CPU1および表示コントローラ5の両方からアクセスできるメモリである。7は表示器I/F回路で実際に表示器に必要な信号、例えばRGB信号等を作り出す回路である。8は表示器I/F回路7から主された信号に基づき画像を表示する表示デバイスである。9はキー入力I/Fで、キーボード10からキー入力が発生した場合、モニタ装置5aのCPU1に事象を知らせる。11は、プログラマブルコントローラとの通信を行う通信I/Fである。12は、アンテナ部3aとの通信を行う通信I/Fである。20はアンテナで、メモリプレート2aとモニタ装置1aを電磁的に結合する。14は復調回路でアンテナ20で受信したデータ列と搬送波に分離する。13は、復調されたシリアルデータをパラレル信号に変換するS/P変換回路である。17はモニタ装置1a等に電源を供給する電源回路である。15は、電源回路17からの電力を高周波信号に変換し、メモリプレート2aに電磁誘導で電源を供給する変調回路である。16は、変調回路14、P/S、S/P変換回路13、変調回路15に基準クロックを供給する発振回路である。

【0018】図2は実施例1におけるモニタデータを格納するためのメモリプレート2aのブロック図である。図2のブロック図において、13aはP/S、S/P変換回路、14aはモニタ装置1aから供給される高周波から、電源成分を取り出す復調回路、17aは復調回路14aからの電源成分出力を入力し、メモリプレート2aの動作に必要な電力を供給する電源回路、4は上記パソコン23等で作成されたモニタデータを書き込み器3bを介して入力し、モニタ装置1aに必要なモニタデータが格納されているモニタデータメモリ、18はメモリプレート2a内に内蔵されて、モニタデータメモリ4か

ら呼び出したデータをP/S、S/P変換回路に出力するCPU1、15aはP/S、S/P変換回路13aから出力されるシリアルデータを搬送波にのせてアンテナへ出力する変復調回路、20はメモリプレート2aとモニタ装置1aを電磁的に結合するアンテナ、16は、復調回路14a、P/S、S/P変換回路13a、変復調回路15aに基準クロックを供給する発振回路である。

【0019】次に図1から図7によりこのモニタ装置1aの動作について説明する。図1においてモニタ装置1aのCPU1は予めROM2の中に格納されたマイクロプログラムに従って演算及び表示処理等を実行する。モニタ装置1aは、メモリプレート2aを通信可能な位置に設置し、電源回路17から供給される電力を変調回路15で高周波信号に変換し、アンテナ20を通して送信する。メモリプレート2aのアンテナ20はモニタ装置1aのアンテナ20と電磁的に結合されているため、モニタ装置1aの変調回路15から送信された高周波信号によりメモリプレート2aのアンテナが誘起電圧を発生する。メモリプレート2aの変復調回路14aにより、この誘起電圧の電源成分が分離され、直流電圧に変換され、電源回路17aに供給される。そして、電源回路17aは、メモリプレート2a内の電源として、メモリプレート2a内のCPU18及び他の素子に電力を供給する。メモリプレート2a内のCPU18に電源が供給されるとメモリプレート2a内のCPU18は動作可能となったことをメモリプレート2a内のP/S、S/P変換回路13aに出力する。P/S、S/P変換回路13aでは、CPU18から出力された動作可能となったことを意味する信号をシリアル信号に変換し変復調回路15aで搬送波にのせてモニタ装置1aに送信する。モニタ装置1aは、この動作可能となったことを意味する信号を受信し、プログラマブルコントローラ内のプログラムにより指定された画面NO.とモニタデータの読み出し要求をメモリプレート2aに送信する。メモリプレート2aはモニタ装置1aから要求のあったモニタデータを、メモリプレート2a内のモニタデータメモリ19からCPU18が読みだし、その読み出したパラレルデータを、P/S、S/P変換回路13でシリアル信号に変換して変復調回路15aで搬送波にのせ、アンテナ20を通してモニタ装置1aに送信する。モニタ装置1aはメモリプレート2aから送信されたシリアルデータをアンテナ20で受信し、変復調回路14で搬送波とデータに分離される。分離されたデータはP/S、S/P変換回路13でパラレルデータに変換され通信I/F12を通してモニタ装置内のCPU1が受信する。モニタデータを表示させるための表示処理時CPU1は、RAM3に格納され受信したモニタデータにもとづいて、1画面中の固定表示部分を作成する。また、必要に応じて、固定表示部分に対応する可変表示部分データも読み出す。例えば、プログラマブルコントローラに接続された場

合、可変表示部分は、プログラマブルコントローラ22内の各デバイス値等であり、これらのデータをプログラマブルコントローラ22から読みだし、逐次必要なデータをRAM3に格納する。CPU1はRAM3に格納されているプログラマブルコントローラから読みだしたデータと、モニタデータとを一画面毎に合成し、VRAM6に書き込む。VRAM6は、アドレスバス、データバス、リードイネーブル、ライトイネーブル信号等のコントロール信号をそれぞれ、2系統持ち、同時に各々のアドレスバス、データバスからアクセス可能なメモリである。一方、表示コントローラ5は、使用する表示デバイス8の種類にマッチした特性を持つコントローラで表示デバイス8の表示タイミング、或は、バス構成で決定される。この表示コントローラ5はCPU1がVRAM6上に書いたデータを読み込み、表示器I/F7に出力する。表示器I/F7は、表示デバイス8の特性にあった出力に信号を変換し、表示デバイス8に出力する。例えばLCDの場合は、電圧及び、電流を使用するLCDに見合ったレベルに変換し、CRTのようにRGB入力を持つ表示器にたいしてはRGB信号に変換する。また、キーボード10にキー入力が発生した場合、キー入力I/F9を経由してCPU1に割り込みを発生する。これにより、モニタデータの情報に基づいてプログラマブルコントローラの内部デバイス情報を変更する。以上のように構成したことにより、モニタデータが格納されたメモリプレートから電磁波結合により非接触でモニタデータを読み出すことができるので、メモリプレート内に電池を内蔵させる必要がない。

【0020】実施例2. 実施例2はメモリプレート19とモニタ装置1aとを光結合させる構成及び動作を説明する。図3において21は光デバイスで、この光デバイス21を介して、メモリプレート19とモニタ装置1aとが光学的に結合される。17bはメモリプレート19内の素子に電源を供給する電源回路である。

【0021】図3においてCPU1は予めROM2の中に格納されたマイクロプログラムにより、そのプログラムに従って演算及び表示処理等を実行する。ミニタ装置1aは、メモリプレート1aと通信可能な位置に設置されて、メモリプレート19内のCPU18は動作可能となったことをP/S、S/P変換回路13に出力する。P/S、S/P変換回路13では、メモリプレート19内のCPU18から出力された信号をP/S、S/P変換回路13でシリアル信号に変換し、光デバイス21で光信号に変換してミニタ装置1aに送信する。以下の動作は、実施例1と同一である。上記のようにメモリプレート19とミニタ装置1aの間のミニタデータのやり取りは光信号によって行われる。なお、メモリプレート19内の電源は電源回路17bによって供給され、供給された電源にもとづきメモリプレート19内の各回路が動作する。以上のように構成したことにより、ミニタデータ

が格納されたメモリプレート19から光結合により非接触でモニタデータをモニタ装置が読み出すことができる
ので、メモリプレート内に電池を内蔵させる必要がな
い。

【0022】実施例3. 図4はミニタデータの圧縮方法を示す図である。

【0023】図5はモニタデータの圧縮するためのフローチャートである。図4はモニタデータの圧縮方法を示す図であり、モニタデータを時系列的に並べた状態を示す図である。時系列的に並べられたモニタデータはフラグ部40と、個数41、及びデータ42から構成される。連続して異なるデータがある場合は、フラグ40に01を格納し、その後に、データの個数41、及びデータ42を格納する。連続して同一のデータが続く場合は、フラグ40に00を格納し、連続している個数41とデータ42の一つを格納する。モニタデータの圧縮の処理手順を示すフローチャートを図5に示す。図5において、まずS502で圧縮するファイルの容量をセットする。次にS503でチェックアドレスカウンタ、格納

10

20

30

40

50

【0023】図5はモニタデータの圧縮するためのフローチャートである。図4はモニタデータの圧縮方法を示す図であり、モニタデータを時系列的に並べた状態を示す図である。時系列的に並べられたモニタデータはフラグ部40と、個数41、及びデータ42から構成される。連続して異なるデータがある場合は、フラグ40に01を格納し、その後に、データの個数41、及びデータ42を格納する。連続して同一のデータが続く場合は、フラグ40に00を格納し、連続している個数41とデータ42の一つを格納する。モニタデータの圧縮の処理手順を示すフローチャートを図5に示す。図5において、まずS502で圧縮するファイルの容量をセットする。次にS503でチェックアドレスカウンタ、格納先アドレスカウンタを0クリアし、個数カウンタA、Bに1をセットする。次にS504でチェックアドレスカウンタの示すアドレスの内容をAに格納する。以下の処理を圧縮するファイル容量回繰り返す。次にS505でチェックアドレスカウンタし、S506で格納先アドレスカウンタに1を加える。次にS507でBにチェックアドレスカウンタの示すアドレスの内容を格納する。S508でA ≠ Bつまり同一のデータが連続していないとき、以下の処理を行うS509で個数カウンタBに1をセットする。初回であれば、S510で01を格納先ア

ドレスカウンタの示すアドレスへ格納、S 511で個数アドレスに格納先アドレスに1を加え、格納先アドレスカウンタに1を加える処理を行う。初回でなければこの処理は行わない。S 512で格納先アドレスカウンタに1を加える。S 513でAを格納先アドレスカウンタの示すアドレスに格納する。S 514でBをAへ格納する。S 515で個数カウンタAに個数カウンタに1を加える。S 516で個数カウンタの内容を個数アドレスの示すアドレスに格納する。最終番地、つまり圧縮するファイルの容量まで終了していなければ、チェックアドレスカウンタ、格納先アドレスカウンタに1を加える処理S 505に戻る。次に同一のデータが連続している場合の処理について説明する。S 508にて、A=BのときS 517で個数カウンタAに1をセットする。初回であれば、S 518で00を格納先アドレスカウンタの示すアドレスへ格納する処理、S 519で個数アドレスに格納先アドレスに1を加える処理、S 520で格納先アドレスに1を加え、S 521でAを格納先アドレスカウンタの示すアドレスへ格納処理を行う。初回でなければこの処理は行わない。次にS 522でBをAへ格納する。

納する。次にS 5 2 4で個数カウンタの内容を個数アドレスの示すアドレスに格納する。以上のような処理によりファイル内にデータを格納するため、連続データ有無のフラグ(フラグ40)を先頭にして送り、その次に連続する同一データの個数を示す情報を送り、その後、連続する同一データ情報を送る。したがって、ファイル内の情報を図4のとおり圧縮した形で送信することが可能である。

【0024】実施例4. 上述の実施例によるモニタ装置1aを生産ラインに適用した場合の構成及び動作について説明する。図7は工場における生産ラインを示す。このような生産ラインでは、通常、生産ラインの最初に管理用パソコンあるいは、もっと規模の大きなコンピュータ23aが設置されており、生産計画や、生産する製品に応じた制御情報を生産ラインに伝達する。この管理用コンピュータ23aの外部記憶装置に前述(実施例1～3にて説明)のように作成されたモニタデータを保管しておく。この管理用コンピュータ23aは、これから生産する製品に応じて、必要なモニタデータを外部記憶装置から読み出し、無線でメモリプレート2aに書き込む。生産ラインでは各組み立て行程が分離されており、各行程毎に作業を行うためのステーション29が設けられ、ステーション29毎に流れてくるワークに応じた作業指示をモニタ装置1aに表示する。例えば、ワーク26がパレット27にのって生産ラインをコンベア28により、左から右へ流れるとき、それぞれのステーション設置されたモニタ装置1aはアンテナ部3aを介してパレットに取り付けられたメモリプレート2aのモニタデータを入力し、このモニタデータ1aにしたがって作業指示、或は、モニタを行う。従って、ラインを流れる製品とメモリプレート2aのモニタデータおよび作業指示、或は、モニタ内容は必ず一致した内容となる。つまり、多種に渡る製品を生産するラインでは、この個々の製品に対する作業内容をモニタ装置が表示できる。また一つのラインの各ステーション毎に多品種の製品の作業内容についてもモニタ装置は表示できる。なお、プレート2aとモニタ装置1aとは上述の実施例1～3で説明したのと同一の構成動作でデータ伝送を行う。また、メモリプレート2a、アンテナ部3a、モニタ装置1aについての構成動作についても上述の構成動作と同一である。以上のように、それぞれのパレットにメモリプレート2aを設けて、それぞれのプレート2aに対して対応するモニタデータを管理用コンピュータ23aから無線で伝送するとともに、それぞれのプレート2aが各ステーション1, 2, 3に対して送るモニタデータにもとづ

いて、各ステーションのモニタ装置は所定の画面情報を表示することができる。

【0025】

【発明の効果】この発明は、以上説明したように構成されているので、以下に示すような効果を奏する。

【0026】この発明に係る請求項1, 2, 3のモニタ装置においては、モニタ装置のメモリ容量を小さくできるので、表示処理時間を短時間でおこなうことができる。また、この発明に係る請求項4のモニタ装置においては、モニタ装置に対するモニタデータ転送時間を短縮できるので、表示処理時間を短時間で行うことができる。さらにまた、この発明に係る請求項5の流れ作業装置において、所定のワークに対する正確な情報を表示手段が表示することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 図1はメモリプレートの電磁結合によりアクセスするモニタ装置のブロック図。

【図2】 図2はメモリプレートのブロック図。

【図3】 図3はメモリプレートに光結合によりアクセスするモニタ装置のブロック図。

【図4】 図4はモニタデータの圧縮方法を示す図。

【図5】 図5はモニタデータを圧縮する場合のフローチャート。

【図6】 図6はメモリプレートにモニタデータを格納する際の構成例。

【図7】 図7は工場の生産ラインを示す図。

【図8】 図8は従来のモニタ装置を示すブロック図。

【図9】 図9はモニタデータ構成を示す図。

【図10】 図10はモニタ装置にモニタデータを格納する際の構成例。

【図11】 図11はモニタ装置にモニタデータを格納する際の構成例。

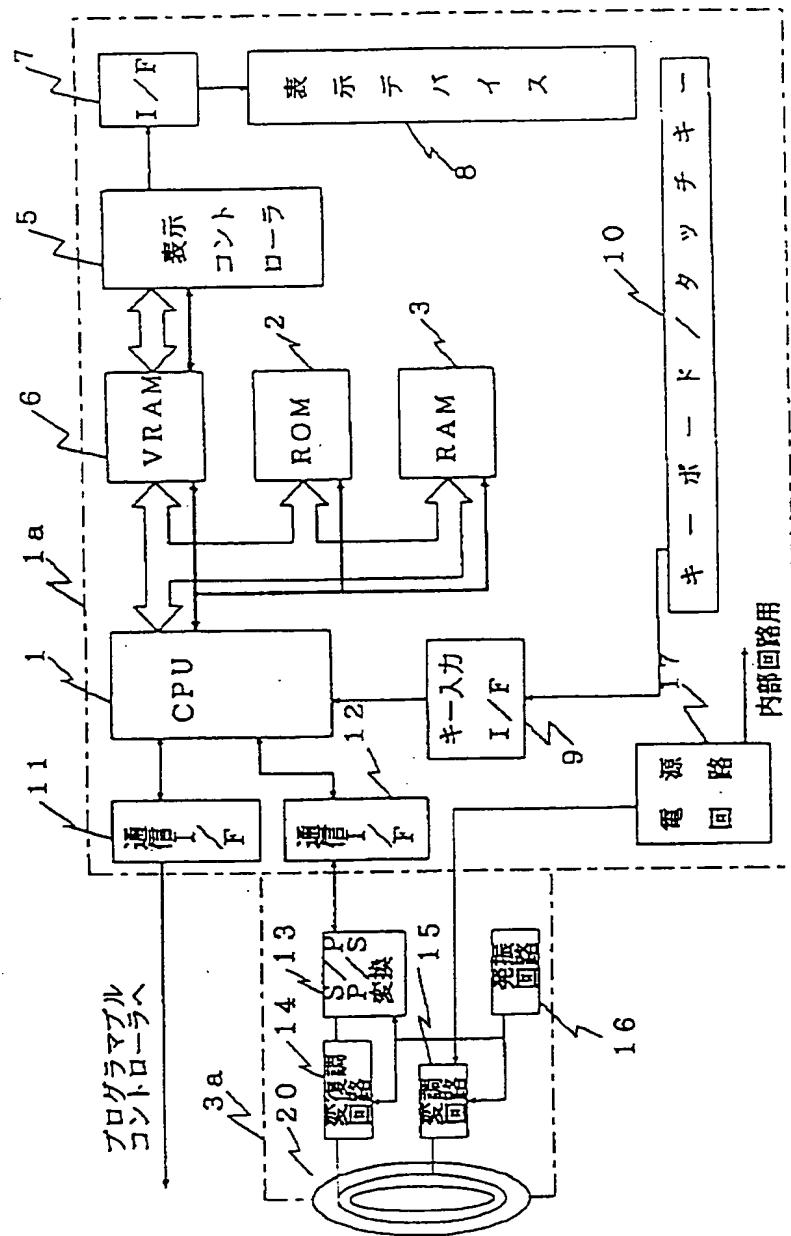
【図12】 図12は従来のモニタ装置のCPUの動作を示すフローチャート。

【図13】 図13は従来の工場の生産ラインを示す図。

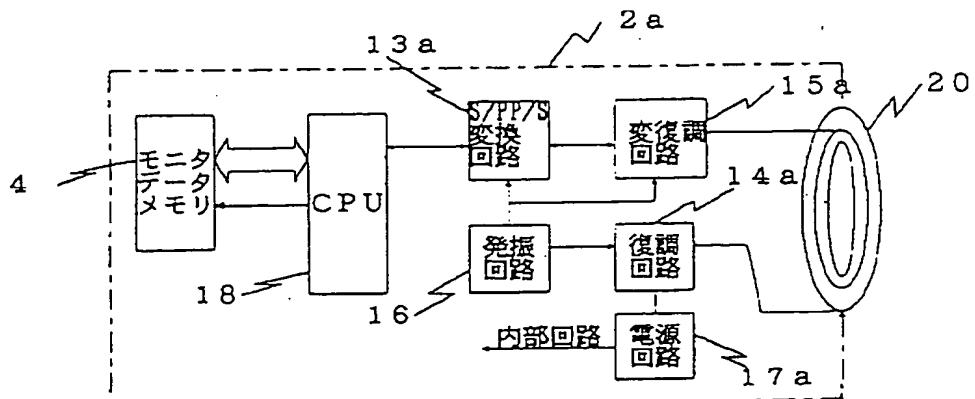
【符号の説明】

1 モニタ装置CPU、3 ワークRAM、4 モニタデータメモリ、5 表示コントローラ、8 表示デバイス、12 通信I/F、13 P/S、S/P変換回路、14 変復調回路、15 変調回路、16 発振回路、17 電源回路、18 メモリプレートCPU、19 メモリプレートモニタデータメモリ、20 アンテナ、21 光デバイス、23 パソコン、24 作画用S/W。

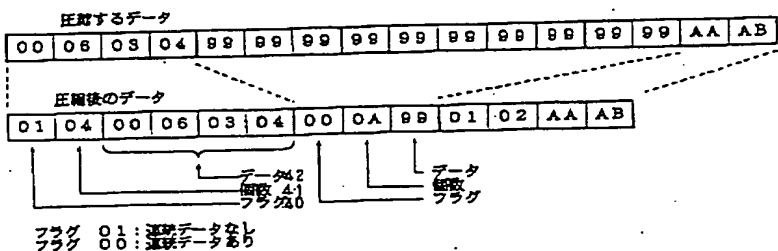
[図 1]



[四 2]

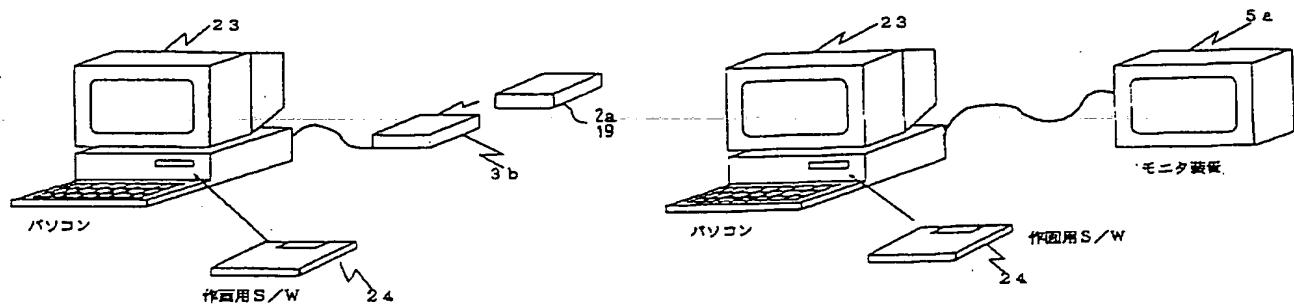


〔图4〕

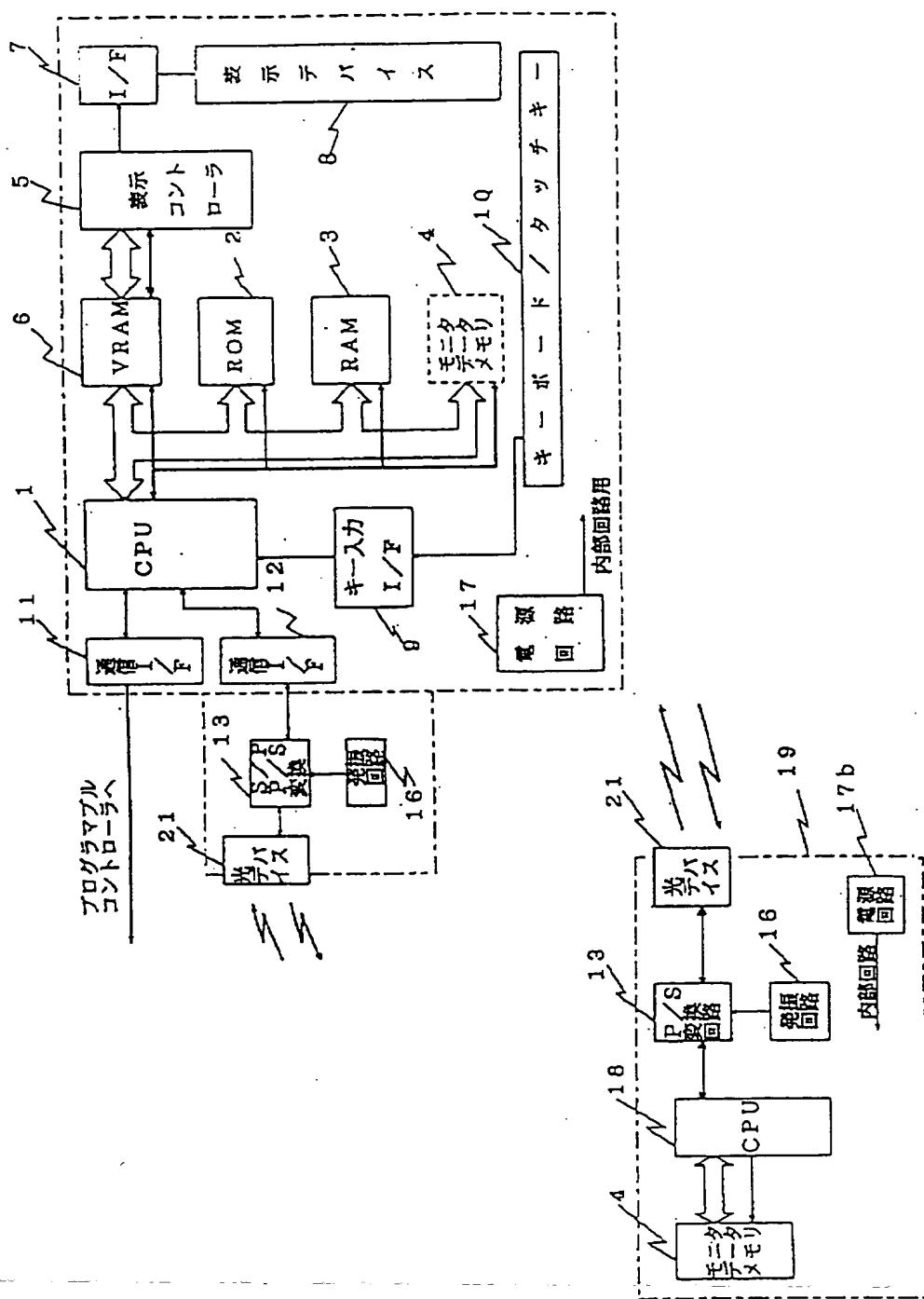


[图 6]

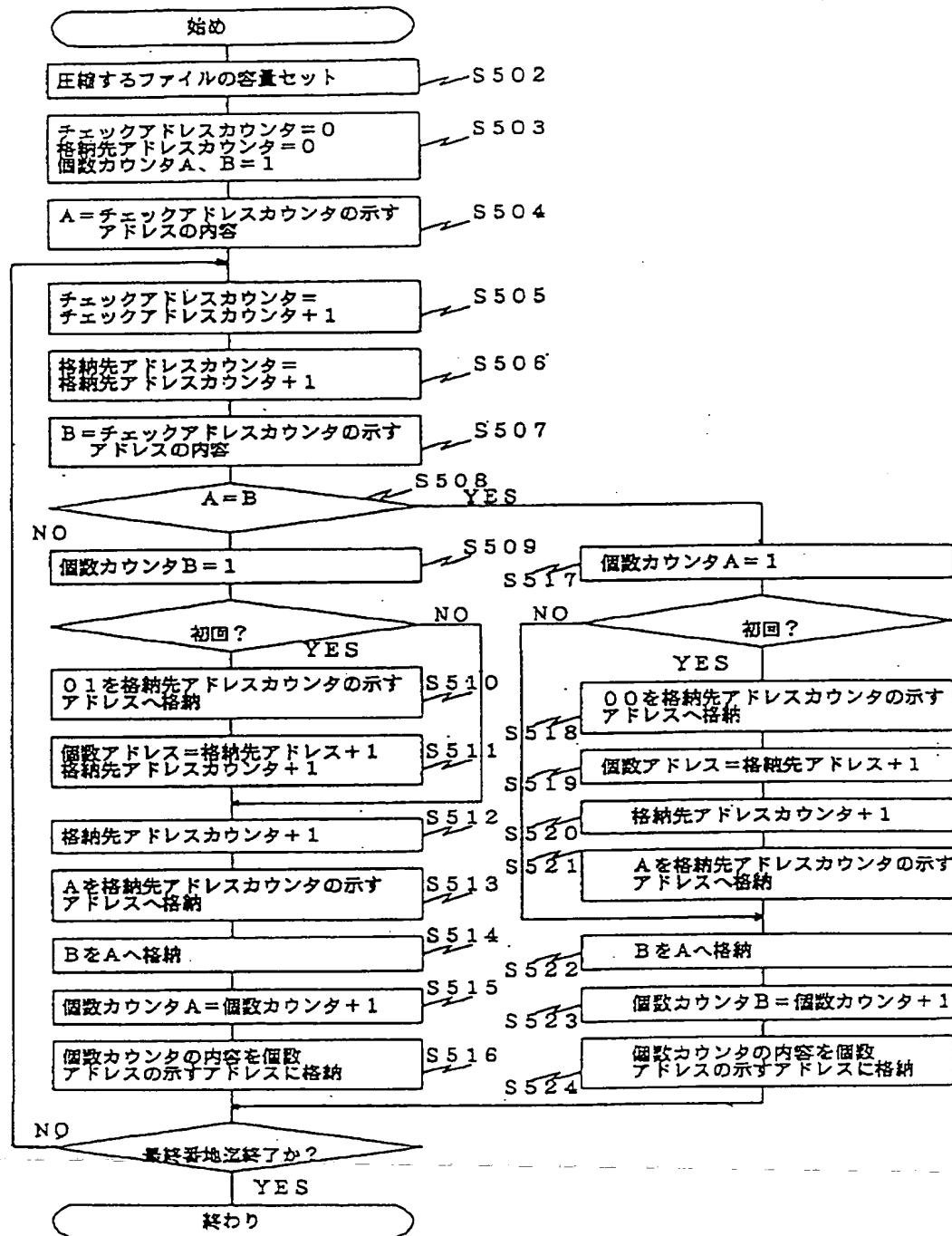
〔图11〕



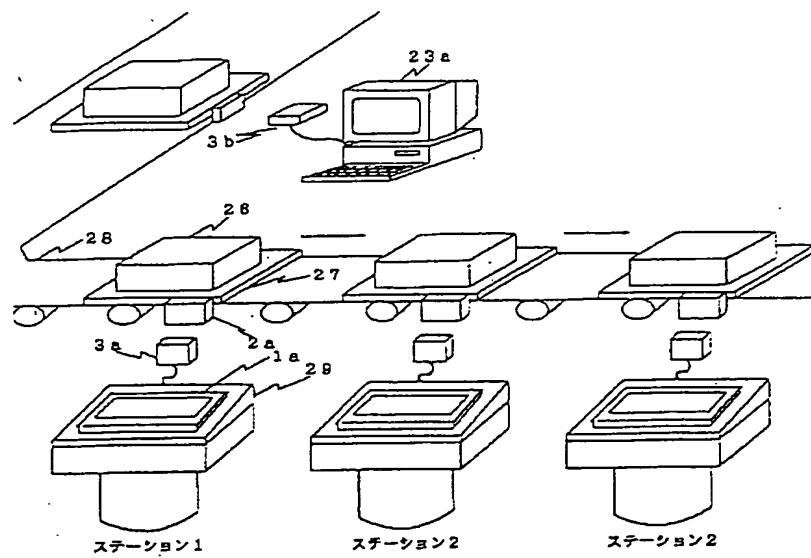
【図3】



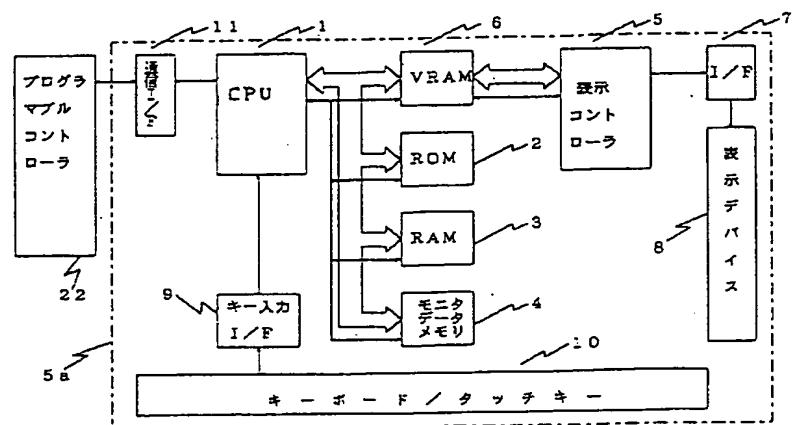
〔四〇六〕



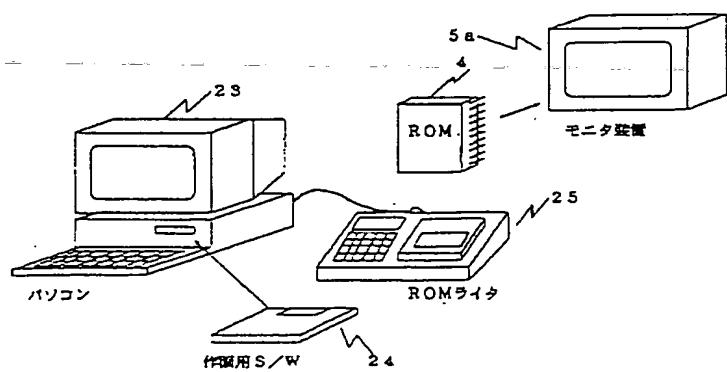
【図7】



【図8】

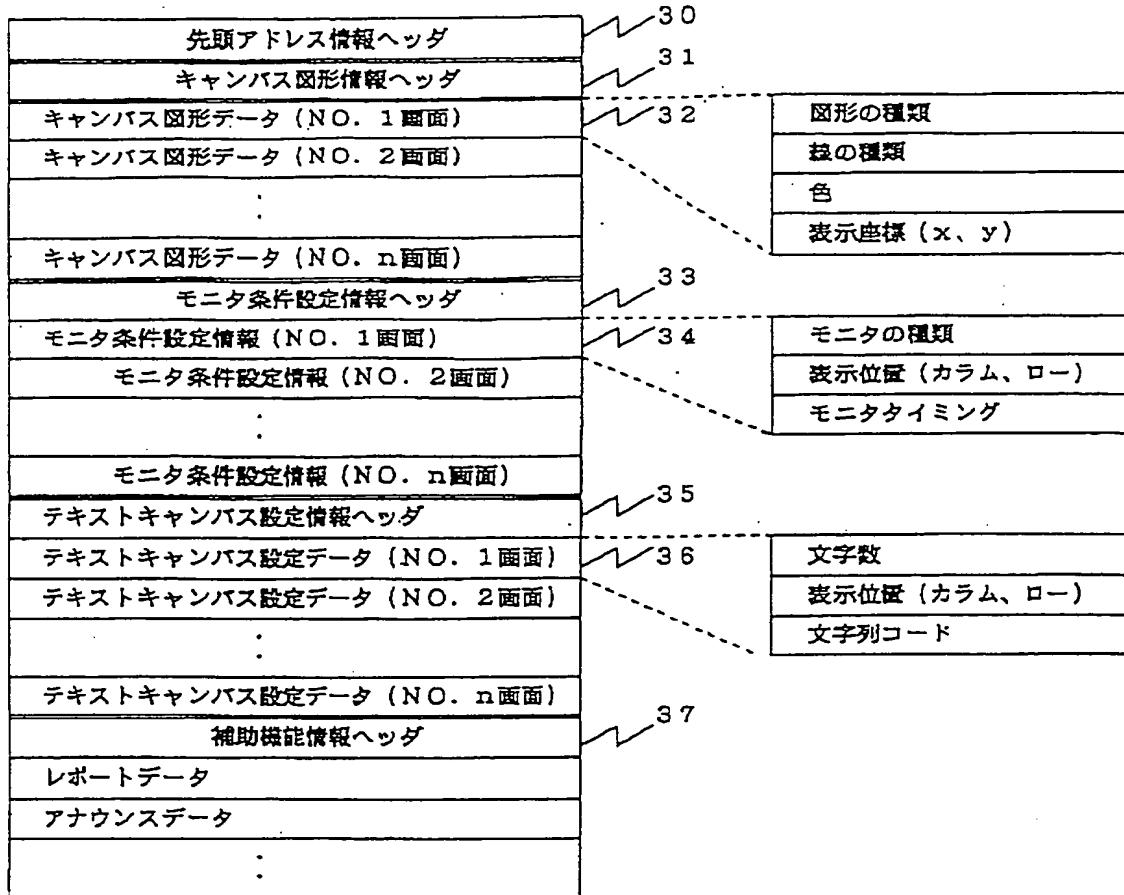


【図10】

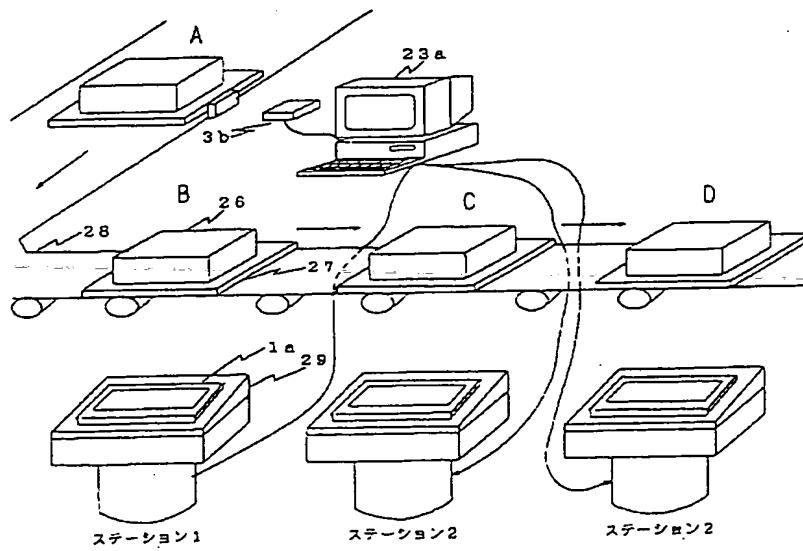


【図9】

モニタデータメモリ構成



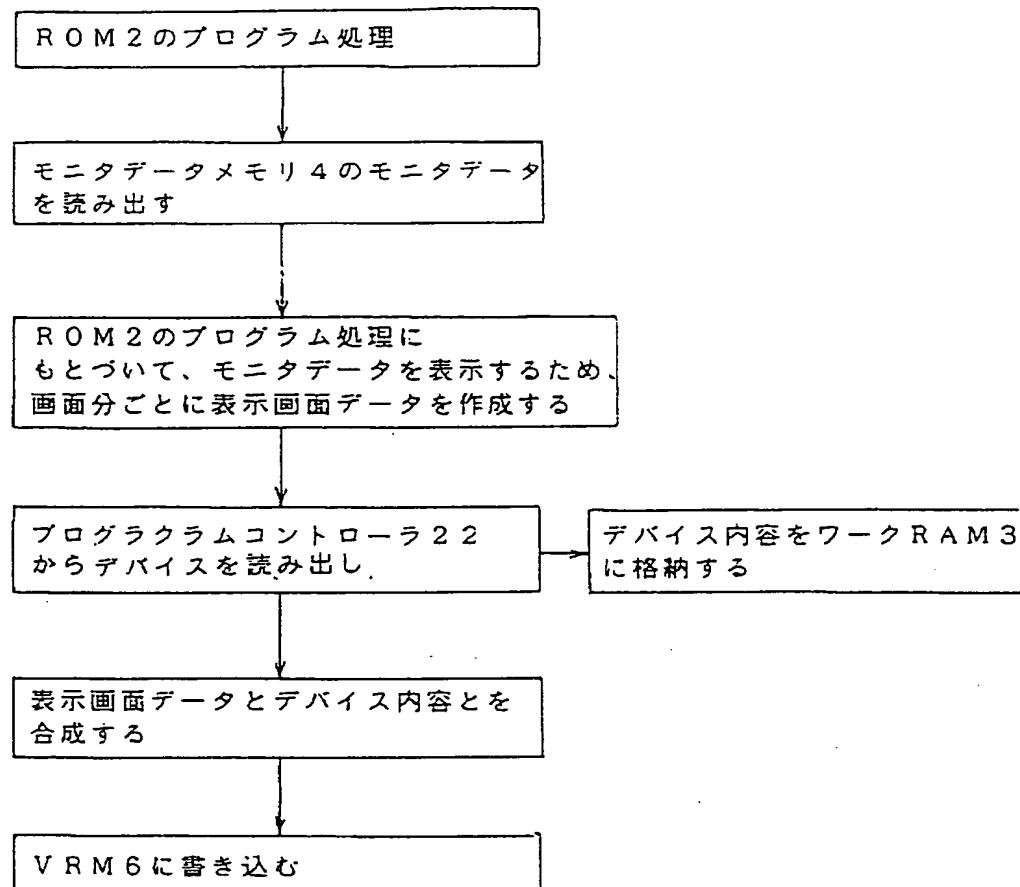
【図13】



【図12】

P 3
[0006] の動作について

C P U 1 の動作



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 6

H 04 Q 9/00

識別記号

府内整理番号

F I

G 06 F 15/21

技術表示箇所

R